

2020年3月期 第3四半期決算および経営構造改革プランに関する説明会
主な質疑応答（要旨）

Q1 第4四半期における宅急便の取扱数量と単価の見通しを教えてください。

- 消費増税の影響などにより荷動きがやや低調な状況は継続し、宅急便取扱数量は弱含みで推移すると想定しています。プライシングの適正化は引き続き推進します。
- アカウントマネジメントにより、大口法人顧客に対するソリューション営業を継続するとともに、リテール顧客に対する営業の強化も継続して推進していきます。
- 世界的に感染が拡大しつつある新型コロナウイルスの影響については、今回の業績予想に織り込んでいませんが、リスクとして認識しています。

Q2 2024年3月期の主要数値のターゲットをどのように実現するのか教えてください。

- 今後も進展が予想される産業のEC化に対応して、EC向け配送サービスの開始などによりEC市場の高い成長力を取り込みます。
- 法人領域においては、グループの営業組織と経営資源を結集して、アカウントマネジメントを推進し物流ソリューションを提供することで、収益拡大を図ります。
- また、同時に、デジタル化やソーティング・システム等の機械化による生産性の向上、データアナリティクスによる経営資源の最適配置、業務の標準化・効率化による管理コストの削減などを推進し、利益成長を目指します。

Q3 新たなEC向け配送サービスがどのようなものなのか教えてください。

- 多様化するニーズに応じて、大手EC事業者や物流事業者と協業した、ECに適した配送サービスです。
- 外部の配送リソースとヤマトの拠点やデジタル基盤を融合しながら、EC向けラストマイルサービスの最適解を導き出し、全国への展開を目指します。

以 上